

## 平成 28 年度 学校 評価 実施 報告 書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
生徒の学習意欲向上及び学力向上のための学習支援体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の編成、教材等の工夫、授業の改善によって、学習に対する意欲を高めるとともに、自ら学び考える態度を育てる。</li> <li>「授業研究」「授業参観」「他校の授業見学」により授業改善に努め、生徒参加型の魅力ある授業を追求する。</li> <li>「生徒による授業評価」を活用し、「わかる授業」を実践する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の学習に対する意欲が高まり、自主性を伸ばすことができたか。</li> <li>② 「授業研究」「授業参観」「他校の授業見学」を生かし、多くの生徒が自ら参加する授業づくりができたか。</li> <li>③ 「生徒による授業評価」の結果を分析し、各教科で目標を定め、授業改善を進めることができたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 教材等の工夫や授業の改善によって、生徒の意欲の高まりが見られた。</li> <li>② 授業研究、他校の授業見学により、教職員の意識が高まるとともに、授業の工夫につながった。</li> <li>③ 「生徒による授業評価」を2回実施し、その結果について保護者に報告するとともに、教科で話し合いを持ち、授業改善に努めた。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のニーズにあった教育課程を編成する。</li> <li>グループ学習や発表などにより、生徒の主体的な取組を一層促す。</li> <li>授業における課題を明確化し、「わかる授業」を推進していく。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすい授業が行われているという評価があった一方で、科目、教員によって分かりやすさにばらつきがあるとの指摘もあった。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>着実に学力の底上げができてきているように思う。</li> <li>ベテラン教師と若手の教師がそれぞれの持つノウハウを共有して授業力アップに繋げて欲しい。</li> </ul> <p>(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生徒による授業評価」において、すべての項目で3.0以上の評価が出ており、概ね生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。(改善方策等)</li> <li>生徒の「思考力・判断力・表現力」を育成する授業を、教科全体で取り組めるような体制を整えていく。</li> <li>毎日の家庭学習が30分以内という生徒いう生徒が6割を越える状況を改善するために、家庭学習の習慣を身につけさせる取組を行っていく。</li> </ul>
キャリア教育を充実させると共に、学校生活を通して自主・自立の態度を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝自習、平常補習、長期休業中の補習、各種検定試験や模擬試験に積極的に取り組むよう促し、生徒の学習意欲を高める。</li> <li>校外見学や体験型授業、進路講演会などを総合学習の一環として計画的に位置づけ、生徒一人ひとりが進路目標の実現のために努力するように働きかける。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 各種補習や模擬試験・検定試験を計画的に実施し、適切に学習を支援できたか。</li> <li>② 進路講演会や校外見学など外部の教育力を活用して実施できたか。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補習、講習、検定試験などを通し生徒の学習意欲を向上させた。</li> <li>面談週間で生徒一人ひとりに対してきめ細やかな指導を行った。</li> <li>1 学年全生徒対象の大学見学、進路講演会などで進路決定への意識づけを行った。</li> <li>神奈川大学の高校生向け公開講座、湘北短期大学によるコミュニケーション研修会、予備校出前授業など外部の教育力を活用することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早い時期から受験を意識させ、一般受験への動機づけにつながるように、模試の実施計画を改善する。</li> <li>長期休業中の大学見学のあり方について見直しを図っていく。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>概ね、キャリア教育によって生徒が将来の進路を定めることができた旨の回答が寄せられたが、保護者との相談の機会を増やして欲しいとの要望もあった。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までに比べて進学先がレベルアップしてきている。進路指導や学習指導が成果を上げていると思う。</li> </ul> <p>(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年間を通じてのキャリア教育の成果が、生徒の進路結果に出てきている。今後も個々の生徒の進路実現を目標に指導を行っていきたい。(改善方策等)</li> <li>保護者に対する進路説明会や進路についての保護者面談の機会を増やし、今以上に、保護者への情報提供を充実させていく。</li> <li>AO入試や推薦入試希望者が増加する中で、小論文や面接指導を充実させつつ、チャレンジ精神を持って一般入試に挑戦できる生徒も着実に育てられるような指導にも力を入れていく。</li> </ul>

<p>社会の一員としての自覚と責任ある行動がとれるよう、生活習慣の確立を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導、特に自転車事故防止に関して、地元警察署やPTAなどと連携し、生徒一人ひとりの交通マナーと意識の確立を図り、交通事故ゼロを目指す。また、学校生活における基本的な生活習慣の確立を図るとともに社会の一員としての自覚を高める。</li> <li>人権尊重の精神やいじめ防止に努め、自他相互の理解の上に立った精神の涵養を図る。また、講演会等をおしてネット社会における正しい知識・マナー・モラルの涵養を図る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①交通事故の減少が図れたか。また、遅刻者数の減少を含めた生活習慣の確立が図れたか。</li> <li>②教育相談や講演会等をおしていじめのない健全な心身の育成と生活習慣の確立が図れたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①あらゆる機会において、生徒に交通安全の注意を行い、地元警察署との連携による定期的な交差点での指導を行ったことで重大事故等を防止することができた。しかし、生徒の交通マナーの意識の向上は十分に果たせなかった。</li> <li>②いじめ問題については、年2回のアンケートや面談をおして、生徒の意識の向上が図れた。また、SNS等インターネット問題についての講演会やあらゆる機会に注意をすることにより、生徒の意識が高まった。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き地元警察書やPTAと連携し、交通安全推進を進めるとともに、講演会、安全教室を定期的実施していく。</li> <li>遅刻指導や服装、頭髪指導を通して生活習慣の確立と社会性の涵養を図る。</li> <li>学校生活の様々な場面で、いじめ（ネット上でのものを含む）防止に努め、人権尊重の精神の涵養を図る。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立のための指導について特に服装指導、頭髪指導についてはしっかりと行われているとの評価が寄せられた。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒達によるクリーンキャンペーン（地域清掃活動）が毎年行われている。地域との繋がりを持つ事が大切。今後、自治会との共同作業も視野に入れてもらいたい。</li> <li>学校の近くの交差点が歩車分離になっていて危険。関係機関に改善要請してはどうか。</li> <li>基本的な生活習慣が確立した生徒が多い。</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な交通ルールを守るようにしてもらいたい。通学路に関する危険箇所については検討していきたい。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年間の皆勤者20名以上、1年間の皆勤者100名以上で、基本的な生活習慣は確立している。</li> <li>生徒指導上の課題はほとんどなく、地域からも礼儀正しい生徒が多いと評価されている。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の課題を抱える生徒に対する教育相談ができる環境を整え、担任だけでなくチームとして対応できる体制を作っていく。</li> <li>SNSによる誹謗中傷、いじめ、個人情報掲載など、多様化するネット上での課題に対応できるように校内体制を整えていく。</li> </ul>
<p>幅広い学習ニーズに対応し、グローバル化した社会を逞しく生き抜く力を身につけた生徒の育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多文化共生教育・国際理解教育を浸透させるにあたり、教員の研修体制の確立、教材の開発、指導方法の研究を進め共生化社会の担い手となる生徒の育成に努めると共に教職員の意識向上を図る。</li> <li>ユネスコスクールネットワークの一員として国内、国外の学校と交流を進めていく。</li> <li>英語コースの特色をアピールする学習プログラム、活動プログラムの開発を進める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①国際理解教育に係わる研修会、研修事業等に職員が参加できたか。</li> <li>②様々な活動へ生徒の継続的・積極的参加を促せたか。</li> <li>③国内外のユネスコスクールなどとの交流ができたか。</li> <li>④英語コース独自のプログラムを実施できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②在県生徒とその他の生徒の交流を深め、多文化共生・国際理解に学校全体で取り組んでゆく。他校の教員との情報交換ができた。</li> <li>③主に国内の学校との交流ができた。</li> <li>④ユネスコスクール活動へ英語コースの生徒が参加した。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在県生徒の進路指導についての体制作りが必要作りである。</li> <li>校内へESD教育を広める努力が必要である。</li> <li>英語コースの成果を学校全体のものにしてゆくことが今後の課題である。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル教育は本校の特色の一つでもあるが、保護者にはまだあまり浸透していない。学校全体で特色がわかるようにしてもらいたい旨の指摘があった。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解学習に生徒が熱心に取り組んでいる様子を見学できた。今後、国内外の学校とのネットワーク化を進めていければ良いと思う。</li> </ul>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコスクール事業、海外姉妹校交流、英語宿泊宿泊、留学生の受入などを通じて国際理解教育を推進することができた。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語コースの解消に伴い、今までの英語コースの教育活動を学校全体での取組に発展させるような校内体制を整えていく。</li> <li>グローバル教育の取組を、保護者や地域の方々にもっと理解してもらえるよう、学校HPなどを活用していく。</li> </ul>
<p>保護者や地域と協働、連携した教育活動を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の幼稚園・保育園・小・中学校との間で部活動、委員会活動・有志などの生徒を中心にした交流活動を進めていく。</li> <li>様々な広報媒体を活用して学校行事を保護者に広報し積極的な参加を促していく。</li> <li>学校説明会を実施し本校の特色を中学校および地域に広く広報していく。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の教育機関などと生徒・教員が交流プログラムを実施できたか。</li> <li>②広報媒体を有効活用し情報の発信ができたか。</li> <li>③効果的に学校説明会を実施できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①社家小交流会、ユニクロ服のチカラプロジェクト、陸上部指導等を通して地域の学校と交流した</li> <li>②HPの情報更新について、月1回以上の頻度で更新し、新しい情報を発信することが出来た。</li> <li>③合同説明会2回、単独説明会3回(8月、11月、12月)を実施した。他に中学3年生対象に個別説明を随時行った。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP更新について、速やかに情報公開が出来る人員の確保と体制を整える。</li> <li>アンケートをもとに、説明会に参加する生徒・保護者にとって必要な情報の精選と提供に努める。</li> </ul>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校が地域社会に対してその活動をアピールしていると評価している保護者がいる一方で、学校からの連絡が家庭に届いていないと指摘する保護者も少なくない。</li> </ul> <p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の活動を紹介しているHPを今後関心を持って見ていきたい。</li> </ul> <p>(その他)</p>	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や生徒会活動を通じて、地域の小学校などとの交流を活発に行った。また、清掃活動などの地域貢献活動も評価されている。</li> </ul> <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の活動がよりよくわかるように、今以上に学校HPによる情報提供に努める。</li> <li>学校からの連絡が保護者に確実に伝わるように、まちコミによる伝達を適宜利用するなどの工夫をしていく。</li> </ul>

<p>地域に対応した防災教育を進めるとともに安全対策を強化する。</p>	<p>①海老名市、地域社会などと連携した防災計画を策定し、災害時への対応に備えると共に、学校施設の非常時対応計画を作成する。 ②海老名市との共同防災訓練や地域防災訓練への参加などを通して緊急時の対応を準備する。 ③生徒の通学時、学校滞在時における安全性について検証を進める。</p>	<p>①地域社会、行政機関などと共同で防災訓練を実施できたか。また防災計画を策定できたか。 ②学校施設の安全性をチェックできたか。 ③学校生活の中で防災教育を実施できたか。</p>	<p>①③1年生を対象に海老名市消防局、市役所、PTAと合同で防災体験訓練を実施した。 ②PTAと合同で校内の安全点検を行った。 地域自治会の避難訓練に参加し避難所開設に関する話し合いを行った。</p>	<p>・訓練項目、体験項目を再検討し震災時に必要最低限の取り組みができるようにしたい。 ・登下校時における大地震に対する対応を生徒一人一人が適切に行えるような防災教育の実施が今後の課題になる。</p>	<p>(保護者) ・1学年が全員参加で実施している防災訓練が効果的であるとの評価が多く寄せられた。 (学校評議員) ・有馬高校も地域の避難場所になるので、その対応についても話合っておくことが必要。 (その他) ・市は小学校と災害時における避難所開設に関する打合せを既に行っている。今後、高校ともこうした打合せをしていければと考えている。</p>	<p>(学校評価) ・海老名市と連携した防災訓練は保護者から高く評価されている一方、地元自治会と連携には課題が残っている。 (改善方策等) ・高校が地元住人の方々の避難場所としてどのような貢献ができるのか、今後さらに検討し、連携を深めていく必要がある。 ・防災訓練だけでなく、日常の授業の中で防災意識を生徒に喚起していけるよう努める。</p>
--------------------------------------	---	--	---	--	--	---